



オアシス

文責：学 長
桑 原 雅 次

出雲芸術アカデミーだより 2024年8月24日発行 第74号

今年はオリンピックイヤーです。先日パリ大会が閉幕したところですが、報道の中心は過剰にもメダル数に固執しているようで好ましい傾向と思っていません…。近代オリンピックの父クーベルタンは「オリンピックは参加することに意義があり」と言葉を残し、私の幼い心にとっても印象強く植え付けられました。また、東京五輪以降「脱・メダル至上主義」が日本選手団のテーマの一つであったそうですから、選手一人ひとりが一生懸命、真摯に五輪に向き合う姿をもっと優先すべきではなかったか疑問に思うことしきりです。

月末から始まるパラリンピックは、是非、選手団のテーマに寄り添う気持ちを私たちは大切にしたいものです。

オペラの魅力！

オペラとは歌劇とも言いますが、歌唱を中心に器楽・舞踊を加え、歌手が扮装して演ずる舞台劇です。16世紀末ごろイタリアで誕生し、諸国に広まったものです。本格的なオペラとなると、オーケストラは舞台前のオーケストラピットに収まり、様々な役柄の歌手が歌い演じます。そして、歌手は役柄にあった衣装をまとい場面の情景は、大掛かりになると大道具がふんだんに使用された舞台セットが雰囲気盛りあげます。場面転換では、舞台装置の素早い転換も魅力的です。このように舞台上にありとあらゆるもの（音楽・美術・衣装・舞台装置等）が集結し、物語が演じられる舞台劇を「総合舞台芸術」と言います。

第26回定期演奏会では、コンサート形式で上演されました。コンサート形式とは、舞台上にオーケストラを配置し、その前でそれぞれの役柄の歌手が演じるものです。

今回の演目は、マスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」でした。あまりにも有名な歌劇であり、特に「間奏曲」は様々な分野で演奏されることが多く、常に私たちに感動を与えてくれる作品として親しまれています。さて、この作品は、マスカーニが若い時に書き上げられたもので、初演にあたって当時の有力な音楽家によってところどころ改訂がなされました。現在上演されているのは、その改訂版が広く上演されていますが、近年、マスカーニのオリジナル稿が発見され、本アカデミーの中井芸術監督が研究論文として発表し、出雲でも公演してきた実績があります。この度は、まだ出雲では未発表であった「フィナーレ」が上演されました。また、この研究論文は、中井芸術監督が博士号取得の切っ掛けとなった作品であることを申し添えます。

さらに、現代の作曲家であるメニカーリの歌劇「12年後～カヴァレリア続編」が上演されたことがとても興味深いプログラムでした。メニカーリはマスカーニと同郷であると共に、丁度100歳違いという共通点の多い作曲家です。このメニカーリの歌劇は、マスカーニの

次ページへ

「カヴァレリア・ルスティカーナ」の悲劇から、12年後の様子が描かれたものです。

今回の2つの歌劇のキャスティングとして、9人の歌手の皆さんに出演していただきました。9人の皆さんにはそれぞれの役柄を演じきっていただき、満員の聴衆の皆様の心を感動の渦に巻き込んだことが、割れんばかりの拍手に象徴されていました。

その他に村人役として参加していただいたのが、本アカデミーの講座からアクティングクワイアの皆さんとジュニアコーラスの皆さんが出演され、合唱の素晴らしさをいかに発揮していただきました。また、北九州シティオペラから9人の皆さんの助っ人により、村人の何気ない仕草などを表情豊かに演じていただいたことは、地元の出演者にとってもとても参考になり感謝しております。

これらの総合舞台芸術をまとめていただいたのは、本アカデミーの芸術アドバイザーである北九州シティオペラの蓮井求道芸術監督でした。蓮井さんは、音楽大学を卒業後にイタリアへ留学され、オペラを中心に学ばれた後、様々なコンクールへ挑戦され華々しい受賞歴と共に、著名なオペラ公演に主役としてご活躍をされたいわばオペラ界のエキスパートといっても過言ではありません。

その蓮井さんは、本番の三日前に出雲入りをされ、早々にキャストの方々との稽古に乗じてポイントごとにアドバイスを指摘してくださり、出演者にとってとても心強いリハーサルとなりました。また、オーケストラとの合わせでは、蓮井さんの出番がない時も客席に陣取り、全体像やキャストとオーケストラとのバランスやキャストの細かい仕草などを的確に指摘される姿を拝見するに、私たちの公演が大成功に導かれた最大の功労者と言えるのではないかと思います。

オペラが総合舞台芸術と言われる由縁は、アーチストや様々な立場のスタッフが一つの舞台を創りあげる芸術のことです。このような公演を実施しようとすれば費用も多くかかります。しかし、市民の皆様が今回のオペラをコンサート形式ではありますが堪能していただけたので、近い将来、是非、本格的なオペラ公演を開催したいと強く意識しているところです。

フォトギャラリー



<リハーサルの様子！>

